

大田区議会議員（無所属）

荒木ひでき 議会報告

電話一本
『走る何でも相談室』

号外 その 25

平成 19 (2007) 年 1月 1日発行

- ◆山 王事務所 (安楽堂)
山 王 3-1-13 TEL 03(3771)4719
- ◆鶴の木事務所 TEL 03(3758)3864
鶴の木 2-16-7 FAX 03(3771)7613
- ◆http://www.youmay.net/araki/
- ◆mail : arakihideki@md.point.ne.jp

「あなたの提言」 議会に届けます。q ～あなたも提言してみませんか～

平成 18年 10月 4 日 三定決算特別委員会 総括質疑 (45分)

平成 18年 11月 29 日 第四回定例会 代表質問 (所要時間 45分)

- 緊急第2弾！ 子どもたちにもっと命の大切さを！！
- 元気高齢者の生活を活力あるものにするために！！
- 目指せ、福祉高齢者 110番！！
- どうなってるの介護保険？？
- 区職員の皆さん、大田区の個店でもっと買物を！！
- 知ってますか？池上にある相撲部屋 などなど

討 議 資 料

平成18年10月4日 3定 決算特別委員会 総括質疑（45分）



自分の目で見て、
自分の言葉でしゃべる

<第6弾> どうなる日赤大森病院？？？

荒木ひでき　　日赤の話は今日で6回目です。これは大田区の大きな課題であり地元でも真剣に心配していますので、機会がある度に質問をしていきます。

平成18年度の一般会計第3次補正予算にも、中央四丁目アパートと旧大森保健所の解体工事費が計上されて、また新たな動きが出ているようあります。配布資料によれば、地上7階、地下2階、入院315床、外来1日850人程度の収容能力を有し、工事は2期に分かれて平成19年11月に着工、平成23年春先に全館開院とあります。補正予算にあります解体工事は、日赤に病院改築用地を提供するために行うものです。この土地は日赤に対しどのような形で提供されるのか、お答え下さい。

経営管理部長　　日赤大森病院の現在の敷地が5400m²ほどで、今おっしゃられた規模の建物を建てるということになりますと1.5～1.6倍ぐらいの土地が必要であります。私どもの区営四丁目アパートの敷地が1800m²ほど、さらに隣の薬品会社の土地も含めると8800m²ほどになることから、日赤は、病院拡張のためには大田区の土地が必要不可欠ということで折衝を重ね、アパートの居住者の方々のご協力を得、老朽化もあってここを廃止し、そして提供するということになりました。提供の形については、日赤が山王に300m²ほどの土地を持っており、そこと交換し、残りにつきましては、有償で賃貸するということを基本に協議を継続しております。

荒木ひでき　　これだけの類をみないような大田区の協力に対して、日赤側は住民の地域の福祉や医療の向上に、どのような形で応えてくれるのでしょうか。

経営管理部長　　まず、日赤大森病院の315床が地域の医療として必要不可欠で、この病院の存続自体が地域の医療計画上、大変重要であるという認識がございます。さらに、24時間365日の二次救急医療の実施、区民の救急用のベッドの確保、災害時の傷病者の受け入れや全国の日赤病院からの医療スタッフの受け入れなどによる災害体制の確保、こういった点が日赤から協力内容として提示されており、さらに協議を続けていく予定でございます。

荒木ひでき　　居住者の方たちは、結構、納得されて、仮住まいに移転して頂いたようです。今後、山王三丁目等に区営住宅ができたら再び移られるもの思います。居住者の願い通りになるよう鋭意努力をして頂きたいと思っておりますが、その辺の状況はどうですか。

まちづくり推進部長　　中央四丁目アパートに居住された26世帯のうち、本移転が9世帯、仮移転は13世帯、もう区営住宅は結構ですと返還された世帯が4世帯となっております。仮移転の13世帯の方の建替住宅への移転希望は、山王三丁目が12世帯、大森四丁目が1世帯となっております。区としては今後、居住者の皆さんのが希望にできるだけ添えるよう、最大限の努力をしていきたいと考えております。

<第6弾> どうなる大森北1丁目再開発？？？

荒木ひでき　　大森北1丁目事業計画。旧入新井出張所の跡地にはすごい勢いでマンションが建っている。完成予想図なんかも新聞の折り込みに入っていて、皆さん、すごく注目をしてい

る。それに比べて、我がN T Tの跡地。「ここは大田区の管理地です。この土地の管理についての問い合わせは…」と書いてある看板が5枚だけ。さらに、「入新井特別出張所や入新井図書館、大田北地域行政センターを集約して、行政サービスの利便性を向上します。また、大森のにぎわいと活力のあるまちづくりに関する民間活用を使った機能の導入を図ります。事業予定、平成17、18年が基本計画、平成19~20年度が建築工事、平成21年開設…」とある。何かこれ、情けなくて、全然よくわからないのです。ここに建物が建ち、基本的な考え方は素晴らしいことはわかるのだけれども、もっと工夫して頂きたい。

まちづくり推進部長 私も早速、どんなお知らせなのか見させてもらいましたが、確かに味気ないと思っております。現在、民間活力を活用したにぎわいの施設を建設する事業スキームを検討中で、年内に民間事業者を選定、その後、民間事業者が設計に着手し、来年度あたりに完成予想図を出せるという手はずでございます。

相撲部屋で地域の活性化を！！

荒木ひでき 相撲の話をします。池上に相撲部屋が引越ししてきて、力士が浴衣を着て歩いて通り過ぎると、ブーンとびんつけ油の匂いをさせて、いいなと。これは大田区の地域活性化さらには観光のための大変な資源であり財産だと思うのです。教育においても、子どもたちに昔からある文化に触れさせることができたらどんなにか大田区は素晴らしい所になるのだろうと思っていますが、区長、いかがでしょうか。

西野区長 お相撲さんというのは何となく一般の方とは異なって、魅力を街にもたらしてくれるだろうという思いもあります。商店街の会長も非常に頑張って、皆さんをまとめて、あのような横断幕を作つておられる。大田以外には中野の貴乃花部屋、あそこ以外ないです。あとはみんな墨田区、台東区です。大鵬が千葉の方に部屋を持ったことがあるのですが、結局、また墨田区に戻ってしまった。ですから、うちは戻らないように、みんなで頑張って支援をしていきたいなど、そんな思いをもっております。

目指せ、福祉高齢者 110 番！！

荒木ひでき 私の母は84歳になるのですが、4月に倒れ救急車で運ばれました。今は何とか1人で歩けるようになりました。現在は、私が食事を作ったり気遣ったりしていますが、これだけでかなりくたびれてしまう。私がやっていることは介護の入口にもいかない。そう考えますと、介護に携わっている人は本当に大変だと、身をもって感じました。

もっと驚いたのは、自分が何を困っているか具体的にわからない。例えば、1日のカロリー摂取量 1600kcal、たんぱく質 45 g、塩分 6 g と食事制限のマニュアルがあって、それでどうやって食事を作るのだなんていきなり言われても、いくら指導されても、難しくてわからない。それで私は、大田北地域行政センターに行ったのです。保健福祉部の窓口で話をしたところ、栄養士の方が、たんぱくやカロリー計算、さらには、無塩バターやそば、うどんといった食材はどこで売っているとか料理の仕方まで、私に教えてくれたのです。折角こういう良い人たちがいるのに、どこに行ったらいいのかわからなかつた。一般の区民の方もしかりと思うのです。

そこで、福祉高齢者 110 番みたいな、何か問題があつたらここに電話しなさいよというような場所があつたら本当に便利だなと。そして、そこであなたはここに行きなさいと交通整理をやってもらうとたらい回しにならずに親切だと思うのですが、いかがでしょうか。

西野区長 実は旧庁舎にいる時に、どなたの提案だったか、そのような趣旨で高齢者の総合相談窓口を作つたのです。そしてここへ移ってきた時にも、1階に高齢者総合相談というのを

作っており、区役所の仕組みとしてはそういう総合窓口はできている。ただ、PRがちょっと下手ですね。大いに、人ごとでなく、高齢者あるいは福祉相談はここへ行きなさいと、そういう形でPRを上手くできるように心がけていきたいと思います。

荒木ひでき 9月7日のNHKのテレビ番組で、介護保険改正の波紋で介護サービスが受けられない、要するに、ケアマネージャーが介護程度の低い人にはなかなか計画を出せないようになってどうにもならないという話がありました。今、大田区には20の包括支援センターがありますが、かかる問題点とその改善方法があつたら是非、教えて下さい。

西野区長 今回の改正で、1人のケアマネージャーが担当する件数の上限が法令的に決められてしまい、今までそれ以上に抱えてケアプランを作つてやつていたところが、それができなくなつた。そうすると、介護程度が高い方のケアプランは作るけれども、低く単価が安い人のプランは作れなくなつてきてついる。程度が低い人がケアマネージャーの所に行つても、うちにはいっぱいですからと断られてしまう。そういう人たちを今、包括支援センターの方で引受けざるを得ず、多くの方が来つてゐる。これが、NHKが取上げた問題の一つで、大田区としてもできるだけ包括支援センターでそういう方々のご相談にのろうとしています。

区職員の皆さへん、大田区の個店でもっとショッピングを！！

荒木ひでき 今回の産業のまちづくり条例の改正がなされた趣旨を説明願います。

産業経済部長 地域の商店街が協力してイベント事業で集客を図る、あるいは装飾灯を立ててその電気代を共同で負担するという取組みがあります。ところが、特にチェーン店が多いということですが、商店街に加入されずに商店街の取組みの恩恵を受けておられる店があるということから、強制はできませんけれども、積極的な参加、それから応分の負担をして頂きたいということで、この4月から条例を改正したものでございます。

荒木ひでき 具体的に成果が上がつたとかという話はお聞きになりますか。

産業経済部長 目立つた話は聞いておりませんが、現在、区商連でも対策委員会的のものを立ち上げて、各地域の商店街で未加入のお店に対して働きかけをされております。そして、幾つかの商店街で数軒の新規加入があつたという報告を聞いております。

荒木ひでき これは経済産業省の「中小企業庁編がんばれ商店街77」という雑誌です。これを見つけると、やはりまだまだ頑張つてあるところがあるのだと思います。日本中77と書いてあるけれども、残念ながら大田区からは1個も入っていないのです。ぜひ、この大田区版を作つて頂きたいと考えているのですけれども、いかがですか。

産業経済部長 現在、それを作るにあたつて、その対象になる、頑張つてゐる商店街が、まずどれだけあるのかというところが問われる部分もあるうかと思います。そういう意味では、是非作れるような、区内の商店街を育て上げていきたいと考えております。

荒木ひでき まさにそのとおりだと思います。個人の店は、とにかくやる気を出してもっともっと頑張らないと、どうにもならない。そこで、商人が頑張ろうとしている時に、産業経済部がやれることには是非手を貸して頂き、実現に協力してもらいたいと思います。

もう1つ、2年前に小松助役が鶴の木の商店街の新年会に来られて、私はパンツからワイシャツからスーツから靴まで、全部、大田区内の個店で買ひますと挨拶された。それを聞いて、私はとてもうれしく思い、みんな大喝采していましたよね。大田区職員は約5,000人います。 どうぞ、職員の皆さんもぜひ買えるものがあれば、区内の商店街で買って頂きたい。何かお住まいの地域で買うものがあつても、区内で買って、それから帰宅されますように。そういう1つ1つの積み重ねそれが本当の個人の店の応援になりますので、是非宜しくお願ひします。

平成18年11月29日 第4回定例会 代表質問（45分）

＜緊急第2弾＞ 子どもたちに、もっと命の大切さを!!

荒木ひでき 私は「新井宿青少対」の副会長として、自分には一体何が出来るのかを考えながら、「青少年の健全育成」について精一杯活動をしています。11月22日に新井宿青少対主催で、「地域のみなさん出番ですよ！シリーズ第5弾 今やさしさとは」というテーマで地区集会を行いました。約100名の参加者から出た貴重な意見をもとに質問します。

私はホームレス猫の問題などを通して、金魚でもアリでも犬でも猫でも命はあるのだ。命を粗末にしてはならないのだ。もっと子どもに命の大切さを教えてと訴え続けてまいりました。そのような中、なぜ「いじめ」は起きるのか。なぜ子どもが自殺するのか。どう防ぐのか。教育委員会としての考え方をお聞かせください。

教育長 いじめや自殺の背景は非常に複雑で、その原因や対応もケースバイケースであり、一般論で語り総括的に纏めることは出来ないと思っている。いじめや自殺に対する有効と思われる対応は着実にひとつひとつ実行していくしかないのではないか。

荒木ひでき 今報道されている陰湿な「いじめ」は、学校の問題と言うよりは家庭の問題が大きいと考えますが、これに対してどう解決していくのか。又、恐喝や一方的な暴力に至っては、例え学校で起こった事であったとしても刑事事件であると考えるが、警察との協力関係はどうになっているのか、お聞かせください。

教育長 これが一番難しい問題である。学校でも保護者会、個人面談、さらには家庭訪問をし、色々とアプローチしているがなかなか難しい面がある。PTA、オヤジの会の力添えも是非賜りたいと思っている。恐喝や一方的な暴力に対しては、毅然とした対応を求められると思います。これは一般的な校内の生活指導を超えたものであり、警察と連携を図りながら対応していくかなければならないケースが沢山あると思います。

荒木ひでき 大人になってもいじめはあります。世の中、いじめはあるのだという前提に立って「いじめられても自殺しない」子どもを育てていく必要があると考えますがいかがですか。

教育長 大変重要な点と思う。家庭・学校でも集団の中で自分の意見を言える子供に育てていくことを今まで以上に考えていかない。また、家庭・学校の中でも小さな課題や困難を与えて、助言しながらも、そこから自分の力で立ち上がりしていく経験を小学校低学年までに与えるべきではないかと、現在、色々なことを検討中です。

荒木ひでき 地域の力が大きな抑止力になると思います。いじめ問題に限らず、もっと積極的な働きかけを学校側からしていくべきだと考えますがいかがでしょうか。

教育長 現時点で2点考えている。いじめは多くが潜伏して分からぬという状況がある。もし、地域の方がそういったことをキャッチしたならば情報を頂きたいと点が1つ。もう1つは、やはり対応が難しいケースの場合。特に保護者の場合があるが、その時は、オヤジの会・PTA全体で向かっていかなければいけないと思っている。

荒木ひでき 蒲田郵便局管内消印の「いじめを原因とする自殺予告書」に関しての教育長の緊急アピール、さらには、教育センター教育相談室での電話での相談受付など、教育委員会の素早い対応にホッとしました。この事に関して説明をお願いします。

教育長 人の命に関わることなので極めて迅速な対応をした。区内中学生の可能性もあり、即、臨時保護者会と全生徒を対象とした個人面談を実施した。これは当該事件だけでなく、潜伏している場合も多くあり、全体集会や面談を通して発見していくとの意義も併せ持っている。

荒木ひでき 「子どもがいじめられているので転校させたい」との相談を受けた事があります。今後、このような事例が増えていくものと思われますが、教育委員会はどのような対応をしていくのですか。

教育長 そういう申し出があった場合、ケースバイケースで個別のケースの原因を究明し、そのケースに適応した解決策を見極める必要があると思われる。その上で、場合によっては、転校といった生活環境を全く変える場合も必要であると認識している。

荒木ひでき 最近本屋に行って驚いたことは、文芸春秋特別版 11月号「教育の力を取り戻す」という本が平積みされ、結構売れていたことです。読ませて頂いて感じたことは、ほとんど全員の執筆者が述べていた「教師の指導力の低下」です。個々の教師または全体で、今!どう「いじめ」に向き合うかの勉強をしておられるのか。又、教育委員の皆さんには、今どのような働きをされているのか、具体的に教えて下さい。

教育長 現在、当面のいじめの問題に対し、さまざまな施策を実施している。臨時校長会開き、いじめの問題の重さを受け止め、兆候を見過ごさない、解決に向けた学校の体制づくり等の一層の充実を指導している。また、中学校では保護者会を実施し、生徒の家庭での様子を情報交換し、いじめ問題で気になる生徒とは家庭と連絡を取るなどといった策を講じている。さらに個人面談を行い、その中で生徒の抱える悩み、問題の把握に努め、早期解決に向けて指導の充実を図っている。心のケアを図る上でスクールカウンセラーから助言をもらっている。今後の対策についても、真剣に学校は生徒と向き合って解決を目指してもらいたいと考えている。教育委員としても、定例の教育委員会でいじめ問題を取り上げ議論し当面の施策を打ち出すとともに、小中の校長会の代表との月例協議会でこの問題を取り上げ、現場の意見を踏まえた議論を行った。これからもなるべく早く今後の対策ということでまとめていきたいと思っている。



願いは1つ、「健康」
巣鴨とげぬき地蔵尊境内のにぎわい

元気高齢者の生活を活力あるものにするために…

荒木ひでき 高齢社会について考える時、区民の関心が高く極めて重要な問題に介護があります。要支援・要介護高齢者はもちろん、その家族に対しても、行政としてできる最大限の支援をしていくことが重要であります。高齢者は、身体の面や経済的な側面から「社会的弱者」と見なされがちです。しかし、実際には、その多くは要支援や要介護を必要とせず、元気で日々暮らしていらっしゃる社会的にも十分活躍できる方たちであります。それゆえ、高齢期の生活を活力あるものとしていくためには、高齢者自身が健康であるとともに、これまで培ってきた豊かな経験と知識・技能を活用し、地域社会の中で積極的に社会活動に参加できる仕組みを作っていくことが求められていると思います。質問します。ゆうゆうクラブに来られる方に働きかけをして、今問題になっている学童の見守り等、高齢者の方たちの経験や知恵を地域に反映させる方法を、区の老人連合会などと連携して実現できないものでしょうか。また、今後の高齢者の雇用に区が支援しているシルバー人材センターがどのように関わっていってほしいとお考えでしょうか。

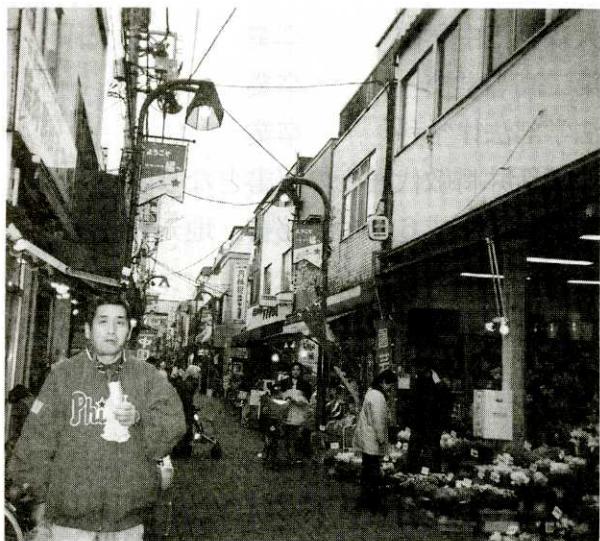
西野区長 ゆうゆうクラブはじめ老人クラブの活動目的は、社会活動と連携して高齢社会の中をいかに乗り切っていくか、豊かにしていくかに尽きると思う。そういう意味でゆうゆうクラブや老人クラブ連合会を通じて色々な働きかけをしていきたい。現在、公園清掃とか子どもの見回り、さらには自転車問題など、社会的な関わりを常に持つて頂くことを通じて、お年寄りにも元気を回復して仕事をやって頂いている。また、自主的にボランティア活動として交通整理をしている方もいらっしゃいます。いかに生きていくか、人それぞれの考え方もあるだろうが、いずれにしても組織を通してお願いする場合は、快く参画して頂くことをお願いしたい。

現在、シルバー人材センターの会員登録は3,000人前後で、年間約11億の仕事をこなし、大田区は日本1~2の実績を持っている。シルバー人材センターには一定の補助をしているが、団塊の世代が入ってくる訳であるから、今後も、いかにその方々に就業の機会を提供していくか考え、支援していきたい。

より実践的な新しい防災訓練の実施…

荒木ひでき 先日、大田文化の森ホールで大森消防署主催、防災システム研究所長の山村武彦氏による「首都圏直下地震から生き残る為の知識と知恵」という防災講演に参加し、『防災は原則自己責任。自分の責任で行政を当てにせず、地域は地域を、自分は自分で守ると言う気がまえを持たなければならない』という基本的な考え方を再度勉強しました。質問します。今年度の総合防災訓練から、行政センターごとのよりきめ細かなものとなりました。特に、北地域行政センターでは、「まちなか訓練」(発災対応型訓練)という、新しい形の訓練が取り入れられましたが、その意義と成果をお答えください。

西野区長 今回から行政センターごとに分けた。本当に身を守るというが第1、それから近隣の人を見守ることが最も大切なという発想で今回から切り替えた。評価頂いて感謝している。今後共この考え方で取り組んでいく。また、消防等関係機関、消防団の皆さんにもご迷惑をかけるが、派手なことよりも地道に自分の命を守り、人の助けをする。ここが一番大切なと、そしてたどり着いた所が学校避難所。そこで生活が始まる。こういう順序だてで一番最初から考えていこうということである。



有名なコッペパン(ジャム付き 150円)を食べながら…旨い！この街には個店の原風景があります。
墨田区京島「キラキラ橋商店街」にて

商人魂でガンバ雷！

荒木ひでき 先日近所の公園でバザーを手伝っていた時、会場近くのお蕎麦屋さんが「すいません。この公園に出前をしますので、注文をお願いします」とメニューを配りに来ました。聞いてみると、公園に人が集まっていたので慌ててメニューをコピーして営業に来た、との事でした。「食べてもらえば味は保障します」と一言。なるほど、出前して頂いた「力うどん」は旨かった。商人の日々の努力とはこう言う事なのだと。出前のおじさんの肩でも叩きたくなるような嬉しい気持ちになりました。質問します。

道塚宮元睦商店会と関東学院大学との商学連携の話を伺いました。大田区初の試みであり、展開したいでは大きな成果が期待できます。その内容をお聞かせ下さい。

西野区長 産業振興協会が関東学院大学と協力し、道塚商店街と繋がりをつけて今後3年程度かけて活性化につながるようなアイディアや具体例を出せないかとの方向で試みているものである。今しばらく続けて結果を見たいと思っている。私も何度か足を運んだが、商店街のイベントに人が集まり、結構、活気あるイベントを組んでいました。

荒木ひでき 大田フェスタの時、産業振興課長が「大田区のお土産です」と頑張ってお菓子の箱詰めを売っておられた。区内の名菓を箱詰めにした商品のようですが、行政として商店振興に対する新しい発想であり、継続すべき大変良い事だと考えます。産業経済部の考え方をお聞かせ下さい。

産業経済部長 今回のフェスタで販売した和菓子の箱詰めは、大田区から地方に出かける際に大田区のお土産は何だろうという点から話が始まった。区内の和菓子製造者に声を掛け、4店の参加を頂き、区内の地名にちなんだお菓子を選んだところがミソである。フェスタでは30箱販売した。一方で色々批判も受けている。今後その点をお店に伝えながら、より良き大田区のお土産になるようになればいいと思っている。

超現場主義 !!

大田区議会議員（無所属）

平成18年度所属委員会

◎健康福祉委員会 ◎防災・安全対策特別委員会
付属機関委員

◎消防団運営委員会 ◎文化振興協会評議員

プロフィール

昭和25年1月13日生まれ

- ・山王若草幼稚園
- ・大田区立山王小学校 卒業
- ・大田区立大森第三中学校 卒業
- ・法政大学第二高等学校 卒業
- ・法政大学法学部法律学科 卒業
- ・平成3年 故新井将敬代議士の秘書となり国政・区政を猛勉強し、平成6年公設秘書、地元責任者となる。
- ・平成7年4月大田区議会議員初当選
- ・平成11年3月 同 2期目当選
- ・平成15年4月 同 3期目当選



いつもバイクで走っています。お気軽にお声をおかけ下さい。

電話1本、走るなんでも相談室